

藤女子大学の校章と シンボルマーク

藤女子大学は1961年文学部英文学科及び国文学科の1学部2学科で開学いたしました。

その淵源は1925年の札幌藤高等女学校であり、1947年開設の藤女子専門学校、そして1950年の藤女子短期大学が礎です。



「藤」の校名は創立当初、校地周辺が札幌の藤の名所であったこと、また藤の蔓はしなやかに強く、低く花房を垂らす姿に謙遜の心を表象するものとして名づけられました。大学の校章は、開学当時から短大の校章とともに主に徽章として使用されてきました。

女性と大学を表す「女大」とそれを包みあげるように咲く藤の花房が、建学の理念である「高い知性と豊かな人間性を備えた女性」を象徴しています。

藤女子大学のシンボルマークは、開学50周年を経て次の半世紀へと踏み出した本学を、広く社会に発信するためのビジュアル表現として制定いたしました。



校章同様に建学の理念をイメージしながら、伝統と先進性を併せ持つシンプルで印象度の高いマークを意図し、構成される三つの曲線で「うつくしさ・やさしさ・しなやかさ」の一体感を表し、シンボルカラーの藤色に濃淡をつけることで躍動感あるものとなっています。

製作・監修は世界的に活躍している北海道出身の現代美術家である川俣正氏です。



2025年9月28日、
藤天使学園の前身である藤学園創立から
100周年を迎えます。